

### 第三期介護保険事業計画

#### 市の考え方は

委員 平成17年度、国で介護保険の非常に大きな改正があり、市としても、16年度中に、その改正に向けて準備を行うことが大切と思う。

そこで、第三期介護保険事業計画に向けて、市の準備状況や、基盤整備の考え方について聞きたい。

介護保険課長 本市でも、17年度に、福祉計画の見直しを予定しており、第三期介護保険事業計画に向けて、国、都の動向等を見ながら検討していきたい。

#### 介護保険課長補佐 基盤整備

については、今後、高齢者が住み慣れた生活圏域で安心して生活できるよう、介護サービス事業者協議会と相談しながら、サービス提供の充実に向けていきたい。

### ゆとり教育

委員 平成16年度予算にゆとり教育振興費が計上されている。各学校では、総合的な学習の時間を使ってゆとり教育が実施されている。

と、府中囃子や武蔵国府太鼓、そして中学校では茶道等も実施している。

また、小学校の児童会等の集い活動で、例えば若松小学校祭り等も、ゆとり教育の中で実施をしている。



▲中学生による府中囃子

### 赤ちゃん絵本文庫

委員 市は、乳幼児健診時に利用できる「赤ちゃん絵本文庫」を、平成16年度に新たに開設するなど、子供の読書機会の拡大を図っている。

そこで、赤ちゃん絵本文庫の内容や利用方法は、図書館長補佐 赤ちゃん絵本文庫は、市民医療センターで

利用方法は、保護者へ事前

に図書館利用申込書を送付し、健康診査会場にて、希望者に図書館利用カードを作成し、貸出しをする。そして、貸し出した絵本は各図書館へ返却してもらう仕組みである。今後は、絵本を充実させ、図書館の利用に結び付けたい。

### 乳幼児医療費所得制限撤廃

#### 対象人数とその予算は

委員 平成16年10月より、子育て家庭の医療費負担軽減策として、3歳児以上就学前までの乳幼児医療費助成の所得制限が完全に撤廃される。

このことは、子育て支援のみならず、少子化対策としても大きな成果が期待でき、大変に評価する。

そこで、この助成の拡大に伴う、対象者増及び予算の増加分について聞きたい。

子育て支援課長 平成15年12月31日現在の数字で推計すると、3歳以上就学前まで拡大する人数は、2636人である。

また、医療費の予算の増額は、16年度予算では4か月分を見ており、3883万9千円と見込んでいる。

### コミュニティバス

#### 補助金の算出根拠は

委員 コミュニティバスは、大変好評で、予想を上回る市民が利用している。

バスを乗り継ぎ、市内の文化施設や自然を体感するなど有効に利用している市民もいる。この事業を実施して大変良かったと思う。そこで、平成16年度の補助金1億3597万6千円の算出根拠とバスの所有者を聞きたい。

都市建設部長 算出根拠は、人件費、燃料費、車両修繕費等の経費である運行経費2億167万6千円から、見込まれる運賃収入6570万円を差し引いた額である。

また、バスは、京王電鉄バスが13台を所有している。

## 総括

### 市長主導の施策

委員 平成16年度予算では、新規事業が20事業で1億2952万4千円、レベルアップ事業が27事業で6億7219万3千円が計上されている。その中で、市長主導で予算編成した主なものは何か、その内容を聞きたい。

財務部長 特に市長の指示で予算化したものとしては、乳幼児医療費助成の所得制限の撤廃、休日開庁、地域防犯パトロールの実施、水と緑のネットワーク拠点整備基本計画策定事業、まちの環境美化推進委員会の設置、また、特別枠事業では、生涯学習センターのプールの塩素を使わない浄化除菌装置の設置などがある。

### 風格のあるまちづくり

委員 平成16年度予算の中に、市長が進める、「府中ブランド」や「風格のあるまちづくり」など、今後の都市づくりの指針になることが掲げられている。

そこで、「風格のあるまちづくり」の内容について聞きたい。

総務部長 その内容は、けやき並木に象徴される、本市の長い歴史と伝統に培われた都市景観や、郷土の森博物館、府中の森芸術劇場、美術館などの質の高い文化、芸術施設、そして、多摩地区で唯一のダストボックス方式のゴミ収集の維持など、他市にない素晴らしい点を評価し、まちの魅力に更に磨きをかけていきたい。

### 経常収支比率の状況

委員 平成15年度と16年度の歳入額を比較すると、一般財源が8億3600万円増えているものの、特定財源である減税補てん債の借換債や、再開発事業に伴う国・都支出金の大幅増により、構成比では逆に6.8%減となっている。

そこで、市の考えを聞きたい。

財務部長 一般財源の増額は、経常的経費に充当した後の余力が増えることになるので、経常収支比率の改善に寄与する。よって、一般財源からみた16年度予算の経常収支比率は、良い傾向であると言えるが、歳出も増加していることから、経常収支比率の大きな改善には至っていないと考える。

### 子供支援の組織整備

委員 一人の子供の育ちに関して、本市では、子育て支援本部をはじめ、多くの部課が関わっている。0歳から18歳までの子供を支援していくためには、総合的な子供施策が重要だと思う。そこで、子供を対象とした施策を総合的に展開する組織や体制の整備について、市の考えを聞きたい。

子育て支援本部長 この施策を総合的に展開していくための推進体制をどうするかは、大変重要な視点であり、次世代育成行動計画検討協議会の中でも議論されるものと考えているので、今後、関係部課とも協議し、検討していきたい。

### 競走事業の展望

委員 平成16年度の競走事業の収益は、10億円を見込んでいるが、この要因としては、従事員の特別離職によるところが大きい。売上げが伸びず、減収が続く中、経費削減の内部努力のみでは、もう限界にきていると思う。そこで、今後の競走事業の展望を聞きたい。

事業部長 16年度は、市制及び平和島開設50周年の節目の年であり、一般レースの底上げをする必要がある。具体的には、5月の連休に、7日間開催による準々優勝戦など、目新しいレースを企画している。

今後、あらゆる施策を実施することにより、将来にわたり、収益が確保できると考える。

平成16年度各会計別予算内訳

区分	平成16年度	平成15年度	伸率(%)	
一般会計	827億6000万円	735億3000万円	12.6	
特別会計	国民健康保険	163億357万9千円	156億224万円	4.5
	老人保健医療	130億5547万6千円	139億8670万8千円	△6.7
	介護保険	83億5222万2千円	80億3715万6千円	3.9
	競走事業	696億514万9千円	1015億5385万9千円	△31.5
	公共用地	25億4901万5千円	25億6901万6千円	△0.8
	下水道事業	43億1502万1千円	48億922万7千円	△10.3
	受託水道事業	24億4490万円	22億6038万円	8.2
	火災共済事業	1023万3千円	999万3千円	2.4
計	1166億3559万5千円	1488億2857万9千円	△21.6	
合計	1993億9559万5千円	2223億5857万9千円	△10.3	

平成16年度一般会計予算款(科目)別内訳

